科学研究費補助金研究成果報告書

平成22年 5月20日現在

研究種目:基盤研究(B)				
研究期間:2007~2009				
課題番号:19310064				
研究課題名(和文)マイクロ波ーポリオール法による金・銀コアシェルナノ微結晶の創製と				
形態制御				
研究課題名 (英文) Synthesis and Shape Control of Gold · Silver Core Shell Nanocrystals				
Using Microwave-polyol Method				
研究代表者				
辻 正治 (TSUJI MASAHARU)				
九州大学・先導物質化学研究所・教授				
研究者番号: 30038608				

研究成果の概要(和文):

マイクロ波ーポリオール法を用いて、これまで報告例がない面心立方構造を有する種々の Au@Agコアシェル微結晶の合成と形態制御に関する研究を行った。その結果、DMF溶媒を用い ることで{100}Agシェルを有する新規Au@Agコアシェル微結晶の形状選択的合成に成功した。 また新たに二十面体や樹枝状Auをコアとする新規Au@Ag、Au/Ag(合金)@Ag微結晶の合成に成 功すると共に、その結晶成長機構をTEM-EDS, SEM観察から明らかにした。

研究成果の概要(英文):

Syntheses of various shapes of Au@Ag core-shell particles with FCC structures were studied using microwave-polyol method. We succeeded in the shape selective syntheses of new Au@Ag nanocrystals with {100} Ag shells using DMF as solvent and reductant. New Au@Ag and Au/Ag@Ag particles were also prepared using icosahedral and branched Au cores and their growth mechanisms were clarified on the basis of TEM-EDS and SEM observations.

交付決定額

(金額単位:円)

	直接経費	間接経費	合 計
2007年度	8, 100, 000	2, 430, 000	10, 530, 000
2008年度	4, 300, 000	1, 290, 000	5, 590, 000
2009年度	2, 700, 000	810, 000	3, 510, 000
総計	15, 100, 000	4, 530, 000	19, 630, 000

研究分野:ナノマテリアル化学

科研費の分科・細目:ナノ・マイクロ科学・ナノ構造科学

キーワード:ナノ材料、マイクロ波加熱、結晶成長、複合金属材料、コアシェル構造

1. 研究開始当初の背景

金属ナノ構造体は量子サイズ効果、表面効 果および体積効果などによりバルク体とは 異なった特異な光学的・電気的・電子的・磁 気的・触媒的特性を示すためナノテクノロジ ーの基盤材料の一つとして注目されている。 特に二元系金属ナノ微粒子は単一の金属か ら成る一元金属ナノ微粒子とは異なる優れ た特性を示すことから、その合成法の開発と 応用に関する研究が活発に行われている。 二つの金属 A, B から成る二元系金属ナノ 微粒子には完全に両元素が混ざり合ったラ ンダム合金構造(図 1(a))や内側のコア(中心 殻)とそれを覆う外殻(シェル)構造から成 るコアシェルナノ微粒子がある。コアシェル 微粒子には球形のコアとシェルからなる微 粒子(図 1(b))と高結晶性の微粒子(図 1(c))など がある。本研究では高結晶性の微粒子の形状 選択的合成を検討した。



研究の目的

金属ナノ微粒子の一般的な合成法として 金属塩を多価アルコール中で還元するポリ オール法があり、溶媒兼還元剤としてエチレ ングリコール (EG) などが用いられている。 通常金属塩のポリオール溶液をオイルバス 中で数時間加熱・還元することで様々な金属 ナノ微粒子が合成されている。

最近ポリオール法の加熱方法にマイクロ 波加熱を用いるマイクロ波ーポリオール法 が開発され、様々な金属や複合金属化合物の 合成に関する研究が活発に展開されている。 本研究では、マイクロ波ーポリオール法を用 いて、これまで報告例がない面心立方構造を 有する種々の Au@Ag コアシェル微結晶の合 成と形態制御に関する研究を行った。Au@Ag コアシェル微結晶の核形成と成長機構が解 明することにより、ナノ金属材料や結晶成長 の分野でのブレークスルーを目指した。形 状・サイズを制御した Au@Ag コアシェル微 結晶の合成法が確立することにより、今後の 新規複合ナノ微粒子の合成に不可欠な多く の基礎的学術的知見を得ることを目的とし た。

研究の方法

多角形 Au コアナノ微粒子の合成と Ag シ ェルの形成という二段階合成法を用いて Au@Ag コアシェルナノ微粒子の合成を試み た。まず、オイルバス加熱法により十面体を、 マイクロ波-ポリオール法により八面体及び 二十面体を高収率で合成した。次に、オイル バス中で加熱した DMF 中にこれらを分散さ せ、AgNO₃と保護剤であるポリビニルピロリ ドン(PVP)を溶解した混合溶液を滴下した。 その後、加熱攪拌を行い合成した。

Au@Au/Ag コアシェルナノ微粒子の合成 は樹枝状 Au コアナノ微粒子の合成と Au/Ag 合金シェルの形成という二段階合成法を用 いて行った。まず、既報の手法と試薬を用い て樹枝状 Au コア微粒子を合成した。その後 DMF 中 Au コア微粒子存在下 AgNO₃を140 ℃ で 3 時間還元させて Ag シェルの合成を試み た。

TEM, TEM-EDS, HR-TEM, SEM, 制限視野 電子線回折(SAED), XRD により得られた 微粒子の構造解析を行い、紫外-可視吸収ス ペクトルの測定から光学特性評価を行った。

4. 研究成果

一段階目の合成で得られた多角形 Au コア ナノ微粒子の平均粒径・割合は、八面体(71±17 nm、68%)、十面体(54±20 nm、56%)、二十 面体(67±18 nm、61%)であった。これらの粒 子を用いて二段階目の合成を行い、図 2 の EDS 解析から、ほぼ全ての粒子において Au コアと Ag シェルが構成されていることを確 認した。また、八面体粒子においては二段階 目の実験で加える AgNO3 の濃度を変化させ ることによって Ag シェルの平均の厚さを 12 nm から 33 nm で制御できた。今回の研究で 多角形構造を有するコアシェル粒子の高収 率合成に成功した。また図 3 に示すような SEM 観察の結果から二十面体 Au@Ag 微結晶 はAuコア表面でAgシェルが4面体の段階的 成長により形成することがわかった。

プレート状、正八面体、十面体金コア結晶 を用いて合成した Au@Ag ナノ微結晶の構造 と本科研費研究開始前に EG 中で2段階合成



図2 多角形 Au/ Ag コアシェルナノ微粒子の TEM 像と EDS 解析 (a)八面体)、(b)十面体、 (c)二十面体



図 3. 二十面体 Au@Ag コアシェル微結晶の 成長機構

して得た結果をまとめて図4に示す。同じ金 コアを用いてもコア金属である Au は安定面 が{111}であるために{111}面を有する微結晶 が生成する。一方シェル金属である Ag は EG 中では{100}面、一方 DMF 中では{111}面が 安定面となるため、同じ形状の Au コアから 異なる形状の Ag シェルが形成された。EG 中 では三角形 Au コアからは元のコアと上下が 逆さまの三角形バイピラミッド Ag シェルが、 正八面体Auコアからは正六面体Agシェルが、 また十面体 Au コアからはロッド、ワイヤー 状 Ag シェルを有する Au@Ag 微結晶が合成 できた。一方 DMF 中では三角形・六角形プ レート、正八面体、十面体の Au コアから、 それぞれコアと同じ構造を有する Ag シェル に覆われた Au@Ag 微結晶が合成できた。こ のように Au コアの形状と溶媒を制御するこ とにより Ag シェルの構造を一対一に制御可 能なことを見出した。



図 4. EG, DMF 中で合成した Au@Ag コア シェル微結晶の構造

図 5(a),(b)に樹枝状 Au コアと AgNO3 還元後 に得られた微粒子の TEM, TEM-EDS 観察結 果を示す。AgNO3 還元後は Au コアに存在し ていた細枝数が減少している。図 5(c)-(f)に示 すコア部分とシェル部分の詳細な EDS 解析 の結果、中央の球形コア部分はAuから成り、 その外側に一部樹枝状結晶を有する Au/Ag 合金層が形成されていることがわかった。

Au/Ag 合金層の生成機構を調べるために樹 枝状 Au コアのみを DMF 中 140 ℃ で 3 時間 加熱したところ細枝のみが溶解し、小さな球 形微粒子が Au コア上に生成した。これらの 実験事実から図 5(g), (h)に示すように Au/Ag 合金層はDMF 中での樹枝状 Au 微粒子の溶解 と遅い AgNO₃の還元が同時に起こり、生成し たものと結論した。本研究より Au の形状選 択的溶解を用いることにより球形 Au コア上 に新規な Au/Ag 合金シェルを形成可能なこ とがわかった。

以上のように様々な Au コアシェルを高収 率合成し、それを種粒子として用いて Ag シ ェルを合成した。これにより本研究の目的と する種々の新規 Au@Ag の形状選択的合成に 成功した。今回合成した新規 Au@Ag ナノ微 結晶は今後触媒・SERS 等への様々な応用が 期待される。

(a) Au seeds



(b) Au seeds/AgNO₃/PVP/DMF



200 nm





図 5. Au@Au/Ag コアシェル微粒子の TEM, TEM-EDS と生成機構

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計28件)

- <u>M. Tsuji</u>, S. Hikino, 他 2 名 "Synthesis of Ag@Cu core shell nanoparticles in high yield using a polyol method" *Chem. Lett.*, **39**, 334-336 (2010) 査読有.
- ② <u>M. Tsuji</u>, M. Ogino, 他 5 名 "Stepwise growth of decahedral and icosahedral silver nanocrystals in DMF" *Crystal Growth & Design*, **10**, 296-301 (2010) 査読有.
- ③ <u>M. Tsuji</u>, Y. Maeda, S. Hikino, 他 6 名 "Shape evolution of octahedral and triangular-plate-like silver nanocrystals from cubic and right bipyramidal seeds in DMF" *Crystal Growth & Design*, 9, 4700-4705 (2009) 査読有.
- ④ X.-L. Tang, <u>M. Tsuji</u>, 他 2 名 "Roles of chloride anions in the shape evolution of anisotropic silver nanostructures in PVP-assisted polyol process" *Bull. Chem. Soc. Jpn.*, **82**, 1304-1312 (2009) 査読有.
- ⑤ <u>M. Tsuji</u>, S. Hikino,他2名 "Synthesis of bicompartmental Ag/Cu nanoparticles using a two-step polyol process" *Chem. Lett.*, 38, 860-861 (2009) 査読有.
- ⑥ <u>M. Tsuji</u>,他2名 "Effects of bubbling N₂ or O₂ gas in syntheses of gold nanocrystals using a polyol method" *Chem. Lett.*, 38, 618-619 (2009) 査読有.
- ⑦ <u>M. Tsuji</u>, D. Ueyama, 他 2 名 "Shape-controlled preparation of gold nanocrystals using a microwave-polyol method" *Chem. Lett.*, **38**, 478-479 (2009) 査 読有.
- ⑧ <u>M. Tsuji</u>, 他 3 名 "Preparation of Cu@Ag core-shell nanoparticles using a two-step polyol process under bubbling of N₂ gas" *Chem. Lett.*, **38**, 518-519 (2009) 査読有.
- ⑨ X.-L. Tang, <u>M. Tsuji</u>, 他 4 名 "Rapid and high-yield synthesis of silver nanowires using air-assisted polyol method with chloride ions" *Colloids and Surfaces A: Physicochem. Eng. Aspects*, **338**, 33-39 (2009) 査読有.
- 10 <u>M. Tsuji</u>, <u>M. Tsuji</u> (5 番目) 他 3 名 "One-step preparation of superlattices and nanocrystals using laser ablation" J. Appl. Phys., 106, 054313 (6 頁) (2009) 査読有.
- T. Tsuji, M. Tsuji (4 番目), 他 5 名 "Preparation of nano-sized functional materials using laser ablation in liquids" *Appl. Surf. Sci.*, 255, 9626-9629 (2009) 査読有.
- T. Tsuji, T. Mizuki, S. Oozono, and <u>M. Tsuji</u> "Laser-induced silver nanocrystal formation in polyvinylpyrrolidone solutions" *Journal of Photochemistry and Photobiology A*: *Chemistry*, **206**, 134-139 (2009) 査読有.

- 13 松尾亮一、辻 正治 "DMF 還元溶媒を用いた新規形状金コア銀シェルナノ微結晶の合成" ナノ学会会報, 8, 57-63 (2009) 査読有.
- M. Tsuji, N. Miyamae 他 3 名 "Crystal structures and growth mechanism of Au@Ag core-shell nanoparticles prepared by microwave-polyol method" *Chimica Oggi/Chemistry Today*, 26, 52-55 (2008) 査 読有.
- M. Tsuji, R. Matsuo, P. Jiang, N. Miyamae, 他 6 名 "Shape-dependent evolution of Au@Ag core-shell nanocrystals by PVP-assisted *N,N*-dimethylformamide reduction" *Crystal Growth & Design*, 8, 2528-2536 (2008).
- 16 <u>M. Tsuji</u>,他 5 名 "The Role of adsorption species for the formation of Ag nanostructures by a microwave-polyol route" *Bull. Chem. Soc. Jpn.*, **81**, 393-400 (2008) 査 読有.
- ① <u>M. Tsuji</u>, M. Nishio, P. Jiang他5名 "Role of chloride ions in the formation of Au@Ag Core-shell crystal structures by using a microwave-polyol method" *Colloids & Surf.* A: Physicochem. Eng. Aspects, **317**, 247-255 (2008). 査読有.
- 18 M. Tsuji, P. Jiang 他 8 名 "Toward to branched platinum nanoparticles by polyol reduction: A role of poly(vinylpyrrolidone) molecules" Colloids & Surf. A: Physicochem. Eng. Aspects, 317, 23-31 (2008). 査読有.
- M. Tsuji,他 5名 "Roles of Pt seeds and chloride anions in the preparation of silver nanorods and nanowires by microwave-polyol method" *Colloids & Surf.* A: Physicochem. Eng. Aspects, **316**, 266-277 (2008). 査読有.
- ② X.-L. Tang, <u>M. Tsuji</u> (4 番目) 他 4 名 "Poly(N-vinyl-2-pyrrolidone) (PVP)-capped dendritic gold nanoparticles by one-step hydrothermal route and their high SERS eff ect" *Langmuir*, 24, 1763-1768 (2008). 査読 有.
- <u>T. Tsuji</u>, D.-H. Thang, <u>M. Tsuji</u> (6番目)他3 名 "Preparation of silver nanoparticles by laser ablation in polyvinylpyroridone solutions" *Applied Surface Science*, **254**, 5224-5230 (2008) 査読有.
- 2 <u>M. Tsuji</u>,他4名 "Shape selective oxidative etching and growth of single-twin plate and multiple-twin decahedral and icosahedral gold nanocrystals in the presence of Au seeds under microwave heating" *Bull. Chem. Soc. Jpn.*, **80**, 2024-2038 (2007) 査読有.
- 3 <u>M. Tsuji</u>, N. Miyamae, 他 5 名 "Shape and size controlled synthesis of gold nanocrystals

using oxidative etching by AuCl₄ and Cl anions in microwave-polyol process" *Colloids & Surf. A: Physicochem. Eng. Aspects*, **302**, 587-598 (2007) 査読有.

- X. Zhang, <u>M. Tsuji</u>, 他 5 名 "Synthesis and growth mechanism of bipyramid-shaped gold based Au/Ag alloys" *Langmuir*, 23, 6372-6376 (2007) 査読有.
- 2 M. Tsuji, K. Matsumoto, T. Tsuji 他 2 名 "Rapid preparation of silver nanorods and nanowires by a microwave-polyol method in the presence of Pt catalyst and polyvinylpyrrodidone" Crystal Growth & Design, 7, 311-320 (2007) 査読有.
- M. Tsuji, Y. Nishizawa, T. Tsuji 他 3 名 "Rapid synthesis of silver nanostructures by using microwave-polyol method with the assistance of Pt seeds and polyvinylpyrrolidone" Colloids & Surf. A: Physicochem. Eng. Aspects., 293, 185-194 (2007) 査読有.
- 2 <u>M. Tsuji</u>, <u>T. Tsuji</u> 他 8 名 "Fast preparation of PtRu catalysts supported on carbon nanofibers by microwave-polyol method and their application to fuel cells" *Langmuir*, 23, 387-390 (2007) 査読有.
- 28 <u>T. Tsuji</u>, Y. Tatsuyama, <u>M. Tsuji</u> 他 3 名 "Preparation of LiMn₂O₄ nanoparticles for Li ion secondary batteries by laser ablation in water" *Materials Letters*, **61**, 2062-2065 (2007) 査読有.

〔学会発表〕(計63件)

- <u>辻 正治</u>, 荻野政利, 松永美香、Au@Ag コア・シェルナノ微結晶の高収率合成と成 長機構、第8回ナノ学会、2010.5.13、岡崎
- ② <u>辻 正治</u>,引野幸枝,田辺竜一、導電性ペースト用 Ag/Cu 二元系ナノ微粒子の合成、第8回ナノ学会、2010.5.13、岡崎
- ③ <u>辻 正治</u>, 唐 新玲、樹枝状 Au コアを用いた Au コア Au/Ag 合金コア・シェルナノ微結晶の合成、第8回ナノ学会、2010.5.14、 岡崎
- ④ 山口大樹, <u>辻 正治</u>、ポリオール法による Au@Cu コア・シェルナノ結晶の合成、第 8回ナノ学会、2010.5.15、岡崎
- ⑤ D. Yamaguchi, <u>M. Tsuji</u>, Preparation of Au@Cu core shell nanocrystals by a polyol method, 第 3 回 物 質 合 成 国 際 会 議, 2010.1.7、名大
- ⑥ <u>辻 正治</u>, <u>吾郷浩樹</u>, <u>辻 剛志</u>、マイクロ波 加熱による銅/銀2元系ナノ微粒子の合成、 大学間連携第5回物質合成シンポジウム、 2009.11.19、京大化研
- ⑦ <u>辻 正治</u>,引野幸枝,田辺竜一、マイクロ 波加熱による銅/銀2元系ナノ微粒子の合 成、第3回日本電磁波エネルギー応用学会

シンポジウム、2009.11.19、東京理科大

- ⑧ <u>辻 正治</u>,引野幸枝、マイクロ波加熱による銀/銅複合ナノ微粒子の迅速合成、第53
 回放射線化学討論会、2009.9.26、福井工大
- ⑨ <u>辻 正治</u>、金属ナノ微粒子の液相合成と応用、第84回ひびきのサロン、2009.9.4、北九州
- ① <u>辻 正治</u>、マイクロ波・レーザーによる金属ナノ微粒子の合成と応用、第3回日本電磁波エネルギー応用学会、2009.5.29、東京理科大
- ① <u>辻 正治</u>、金属ナノ粒子の合成と触媒への応用、日本化学会九州支部第 29 回支部シンポジウム ナノ材料が創り出す新しい機能性 2008.11.28、九大筑紫キャンパス
- 12 <u>M. Tsuji</u>, R. Matsuo, P. Jiang, N. Miyamae, D. Ueyama, M. Nishio, Shape and Size Controlled Syntheses of Metallic Nanoparticles and Their Application, The 3rd International Carbon Festival, 7th Asian Forum on Carbon to Save the Earth, 2008.11.11、全州(Korea)
- 13 松尾亮一, 植山大輔, 西尾倫子, 宮前治広, 江 鵬, <u>辻 正治</u>、多角形金コア銀シェルナノ微結晶の合成と結晶成長に関する研究 第3回分子科学討論会 2008.9.25、福岡
- ④ 松尾亮一, 植山大輔, 西尾倫子, 宮前治広,
 江 鵬, <u>辻 正治</u>、新規形状多角形金コア銀シェルナノ微結晶の合成と結晶成長、第
 61 回コロイドおよび界面化学討論会2008.9.9、福岡
- ① M. Tsuji, R. Matsuo, P. Jiang, N. Miyamae, 他 6 名, Shape-Dependent Evolution of Au@Ag Core-Shell Nanocrystals by PVP-Assisted N,N-dimethylformamide Reduction, GCMEA 2008 - MAJIC 1st (Global congress on microwave energy applications) 2008.8.7、琵琶湖
- 16 松尾亮一,西尾倫子,宮前治広,<u>辻 正治</u>、 新規形状多角形金コア銀シェルナノ微結 晶の合成と結晶構造,第45回化学関連支部 合同九州大会2008.7.5、福岡
- ① 松尾亮一,<u>辻 正治</u>、DMF 還元溶媒を用いた新規形状金コア銀シェルナノ微結晶の合成、第6回ナノ学会2008.5.8、福岡
- 18 西尾倫子,宮前治広,松尾亮一,<u>辻 正治、</u>マイクロ波加熱およびオイルバス加熱による金コア銀シェルナノ微結晶の合成、第6回ナノ学会 2008.5.8、福岡
- M. Tsuji, Preparation of Au, Ag, and Au@Ag Core-shell Nanocrystals by Microwave-polyol Method, 第2回九大先導研・英国・東北大 多元研ジョイントワークショップ, 2008.3.10、仙台
- ⑦ 西尾倫子,宮前信広, P. Jiang, <u>辻 正治</u>、マ イクロ波ーポリオール法によるAu@Agコ アシェルナノ微結晶の合成におけるハロ

ゲンイオン効果, 第1回日本電磁波エネル ギー応用学会シンポジウム, 2007.9.26、大 垣

 ・の 西尾倫子,宮前治広,辻 正治、Au@Ag コアシェルナノ微結晶の成長に及ぼす CI のエッチングの効果、第5回ナノ学会、
 2007.5.21、筑波

〔図書〕(計2件)

- <u>辻 正治</u>、米澤 徹監修 "金属ナノ・マイクロ 粒子の形状・構造制御技術"シーエムシー 出版、第 6 章 4. コア・シェル 微粒子 166-177 (2009) 査読有.
- ② X.-L. Tang, <u>M. Tsuji</u> "Syntheses of Silver Nanowires in Liquid Phase" *Nanowires*, Nicoleta Lupu (Ed.) in TEK webbook, Chapter 2, pp. 25-42 (2010) 査読有.

〔産業財産権〕

- ○出願状況(計2件)
- 名称:半球合体型複合金属ナノ粒子および その製造方法
 発明者:<u>辻 正治</u>、引野幸枝、佐野義之 権利者:九州大学-DIC
 種類:特許 番号:2009-177680
 出願年月日:2009 年7月30日

国内外の別:国内 ② 名称:コアシェル型金属ナノ粒子の製造 方法 発明者: 辻 正治、引野幸枝、佐野義之 権利者:九州大学-DIC 種類:特許 番号: 2009年1月14日 出願年月日: 特願 2009-5568 国内外の別:国内 〔その他〕 ホームページ等 http://133.5.181.45/TSUJI/ 6. 研究組織 (1)研究代表者 辻 正治 (TSUJI MASAHARU) 九州大学・先導物質化学研究所・教授 研究者番号:30038608 (2)研究分担者 辻 剛志 (TSUJI TAKESHI) 九州大学・先導物質化学研究所・助教 研究者番号:50284568 (3) 連携研究者 吾郷 浩樹 (AGO HIROKI) 九州大学・先導物質化学研究所・准教授

研究者番号:10356355